

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	I Le 越谷 ラフ		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 6日		～ 2026年 3月 13日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 13名
○従業者評価実施期間	2026年 3月 6日		～ 2026年 3月 13日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数) 3名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	系列店や他法人との合同交流会を開催している。県立公園が目前の自然豊かな療育環境。	普段とは違った相手との関わりを通じて、新たな発見や経験を積めるように取り組んでいる。 一番大切にしていることは「楽しい」と思ってもらえること、子供のペースに寄り添った支援。散歩やドングリ拾い、サンルームでの活動など、季節の移り変わりを感じる事が出来る取り組み。	交流を通じて子供も大人も新たな発見があるが、交流会に留まらず職員間での事例検討や相互交流を図っていく。
2	調理体験	短縮下校や休校日を中心に、子供たちを主体とした調理体験をおこなっている。 火おこしやみじん切り、手でちぎるなどその子に応じた過程を通じて全員で作り上げ、みんなで味わうこと大切にしている。 上手下手にとらわれず、チャレンジ出来たことを大切にしている。	メニューや調理バリエーションの増加。
3	クリニックとのつながり	同法人のクリニックと連携する事で、STや心理士等の専門的な知見に基づいたアドバイスを支援員間で共有し、根拠に基づいた療育を提供できる体制を整えている。	日々の支援に各専門職の知見を活かした支援をおこなっていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員の専門性の向上	エビデンスに基づいた支援の不足	専門職との連携強化の推進
2	保護者同士の交流支援	保護者同士の交流や情報交換の機会不足	勉強会やピアサポート等の開催
3	情報発信の弱さ	情報発信の方法や頻度等の不足	情報発信に関する新たな取り組みや方法の検討